



誼訪之瀬島小・中学校  
**祝 本校開校2周年**  
 分校86年の歴史と伝統を大切に 2016年本校として開校

**すわのせしあわせ学校だより**  
 明朗 自主 健康 根性 (中学校校訓)  
 やさしく かしこく たくましく (小学校校訓)

あいさつ そろえる誼訪之瀬っ子  
 誼訪之瀬島小・中学校  
 平成29年度6月号

### 「体験活動の意味」

校長 吉永 久志

学校の周囲や山々の緑が雨にうたれて、ひとときその濃さを増しています。さて、5月の末から6月始めにかけて、子どもたちにとっては楽しみな、中学生の職場体験学習と小学5・6年生の集合学習が行われました。

職場体験学習は、「働くことの意義や自己の職業へ対する意識を高める」ことなどを、集合学習は、「多人数や他の場所での活動を通して集団生活でのルールや集団の一員としての自覚を高める」ことなどをねらいとしています。日頃は体験できないことを体験したり、他の学校の友だちと一緒に協力して活動したりする楽しさだけでなく、先のねらいを達成することも大切です。中学生は、職場体験を通して、実際に働くということの大変さを少しでも感じられたでしょうか？小学生は集合学習を通して、集団の一員としての自覚が高まったでしょうか？・・・。

ところで、このような「体験」をする活動が、教育活動の中に意図的に設定されているのはなぜでしょうか。それは体験は「人格形成にとって欠かせない」という認識に立っているからです。人間は本来、自然や人などの自分を取り巻く環境の全てのものに関わって生活しています。頭の中の「知」と実際に体験した「知」との複雑なやりとりが必要となります。いわゆる「情報知」と「体験知」の関係です。授業の中で得た「情報知」は実生活場面での「体験知」として確立されていきます。その一つ一つの積み重ねが、本当の学力になります。6月3日(土)のファミリー劇場でも、話しに聞いていたプロの演奏家のすばらしい演奏と実際に目で見て聞いて、体感した演奏が一体化して大きな感動を得たことと思います。

誼訪之瀬島の子どもたちは、雄大な自然や学校・PTA・地域の行事を通して、他校の子どもたちにも負けないくらい多くの体験活動をできています。今後も「情報知」と「体験知」の積み重ねで、本当の学力を大いに身につけて欲しいと思います。

### 【子育てのことは】

○「百聞は一見如かず」

・・・百回聞いた話(知識)よりも、1回見たものの(体験)の方が勝り、ためになる。

## 5月～6月のスワ/セシアワセ写真館

小学5・6年生  
 は中之島に学び  
 に行きました。



### 2017年 7月の学校行事(予定)

- 1日(土)～2日(日) 道普請
- 3日(月) 1学期PTA・授業参観
- 4日(火) ALT来校(サマンサ先生)・島内放送
- 5日(水) & 7日(金) 水泳教室⑤⑥
- 8日(土) 土曜授業
- 10日(月) 生活アンケート(教育相談)  
郷土教育⑤とSUWAWASE社会教育学級5
- 11日(火) 薬物乱用防止教室④⑤  
SUWAWASE社会教育学級6
- 13日(木) 水泳教室⑤⑥
- 15日(土)～16日(日) 子ども会キャンプ
- 20日(木) 大そうじ②終業式③

## 6月の保健指導



6月9日(金)に保健指導が実施されました。中武先生から歯の大切さと正しいブラッシングの方法を教してもらいました。昼休みは磨き残しが残らないかを歯垢染め出し液でチェックしました。その昔、「芸能人は歯が命」とうたったCMがありましたが、やはり歯が命。1日3回正しく歯磨きしましょうね。夏休み期間も習慣づけましょうね。

## 職場体験学習

5月29日から3日間、5名の生徒たちは、鹿児島市内の7つの職場で実際に勤労体験をしました。商品の並びショーケースを隅々まで拭く姿、島内放送で島民にみんなのがんばりを伝える姿、患者さんのベッドのパイプを丁寧に消毒し拭く姿、子どもがじゃれてじゃれて疲れても笑顔で遊ぶ姿、朝早く目をこすりこすり大人の混じり競りに挑む姿・・・またホテルでの集団生活でもリーダーシップをとり、よく頑張っていました。きっと輝ける未来に続くと思っています。引率の先生方もお疲れ様でした。



### 後記

戸締まりは怖い。  
 真っ暗な校舎 施錠を確認  
 懐中電灯を頼りに・・・  
 先日は頼りの懐中電灯を自ら消した。  
 校舎裏はホテルの求愛婚活中だった。  
 しばし時間を忘れ幻想に浸っていた。  
 美し風物詩。心が満たされた。でも戸締まりは・・・怖い！